

大学院農学研究科生命機能学専攻応用生命化学コース
生物有機化学教育分野（助教）の募集

1. 対 象 者

(1) 所属・職名 : 大学院農学研究科 生命機能学専攻 助教 1名
教育組織 : 応用生命化学コース

(2) 教育分野 : 生物有機化学

生物資源、食品の機能解明及び有効利用を目的として、有機化学的手法を用いた天然物有機化合物、及び類似化合物の合成、単離、構造解析を行い、生理活性、生理活性発現メカニズムを化学的に解明するための教育研究を行う。

(3) 資格条件 : ア. 博士の学位を有する者又は取得見込みの者
イ. 生物活性物質について、合成、構造活性相関、計算化学による相互作用解析、活性発現メカニズムの解明、構造解析等の有機化学的手法を用いた研究業績を有し、生物有機化学教育分野の教育及び研究を推進できる者
ウ. 農学研究科及び学内研究センターの研究者と連携して、積極的に研究を展開する意欲を有する者
エ. 決定次第、可能な限り早期に着任できる者

(4) 任期 : 5年（テニュア教員育成制度）

※ 愛媛大学のテニュア教員育成制度は、優れた能力開発プログラムを提供することに加え、財政的支援（研究費の配分等）を行うことで、若手教員の教育研究環境を充実させ、大学人としてふさわしい総合的な能力を有する教員を育成することを目的としています。任期中に審査に合格した者はテニュア職（終身雇用）に移行します。詳しくは、注）をご覧ください。

(5) 雇用条件 : 給与は、年俸制を適用する。

(6) 担当授業科目 : 大学院 : 生物有機化学に関連する講義、演習、実験、実習及び
修士論文等を分担
学 部 : 生物有機化学に関連する講義、演習、実験、実習及び
卒業論文等を分担

2. 提 出 書 類

(1) 履 歴 書 : 所定様式 1通

(所定様式は下記からダウンロードしてください。)

<https://www.agr.ehime-u.ac.jp/outline/inquiry>

お問い合わせ>教員公募に関すること>履歴書様式)

(2) 研究業績等目録 : A4版横書き（論文別刷り、著書及び参考資料各1部添付*）1通

学位論文—題目、年

著 書—書名（編、単著、共著、分担）、総頁数、著者等（分担項目、
頁）、出版社、発行年

学術論文—全著者、年、題目、誌名、巻（号）、通頁

参考業績—学術論文に準ずるもの、特許や外部資金獲得、社会貢献等の実績
なお、学会発表は件数のみで可

教育実績—担当授業科目、場所、期間

*学術論文別刷りについては、すべてPDFファイルにして、記録媒体

（USB又はCD-R等）で提出する。その他の業績は、PDFファイル又は紙媒体
で提出する。

*著書については、現物、現物の抜刷り又はコピー可。

(3) 現在までの教育研究内容の要約（800字程度）

(4) 着任後の抱負（800字程度）

*教育・研究・社会貢献・管理運営等について記載すること。

(5) 博士の学位を未取得の者は、取得見込みを証明できる書類

(6) その他参考となる資料

3. 応 募 期 日 : 令和6年4月1日（当日消印有効）

（書留等確実な方法を用い、当方から連絡する場合の宛先、電話番号及びメールアドレスを明記のこと）

4. 送 り 先 : 〒790-8566 松山市樽味3-5-7 愛媛大学大学院農学研究科長
(封筒に「生物有機化学教育分野」と朱書のこと)
5. 選 考 方 法 : 一次:書類選考
二次:面接及びセミナー
(但し、旅費等の経費は自己負担とする。状況によりオンラインでの実施も可能。)
6. 問い合わせ先 : 農学部総務チーム 電話 (089) 946-9803
F A X (089) 977-4364
e-mail: agrshomu@stu.ehime-u.ac.jp
※メールの件名を「生物有機化学教育分野公募」とすること。

[付 記]

コースの状況(令和6年1月31日現在)

専任教員:教授6、准教授7、助教5

[うち生物有機化学教育分野 教授2]

兼任教員:教授1、准教授4、助教1

生物有機化学教育分野のURL ; <http://web.agr.ehime-u.ac.jp/~bioorganic/index.html>

- (1) 本学は、男女共同参画社会基本法の趣旨に沿って、教員の選考を行うとともに、ダイバーシティ研究環境実現の取組を推進しています。
- ・若手研究者キャリア支援事業:若手研究者(出産・育児負担のある女性研究者及び男性研究者)に研究活動の維持・促進、キャリア支援を行う目的で研究支援員を配置する制度です。
 - ・研究者キャリア支援事業:出産・育児・病气けが等治療・介護・管理運営等業務のため研究活動に支障が生じた場合、事案ごとに、研究者本人、または該当研究者が所属する研究室に研究支援員を配置する制度です。(管理運営業務に対する支援は女性研究者限定)
 - ・夫婦帯同雇用支援事業:教員のパートナーが研究者でありかつ別居している場合、該当研究者が一定期間研究活動を行うことができるように本学の研究者として採用する制度です。
 - ・保育施設:「えみかキッズ」(城北キャンパス)、「あいあいキッズ」(重信キャンパス 医学部附属病院保育施設)の2箇所を設置しています。「あいあいキッズ」には、病児保育制度もあります。
 - ・学童保育:春・夏・冬の長期休暇中の学童保育を実施しています。また、「あいあいキッズ」では、通年の学童保育を実施しています。
- (2) 個人情報保護のため、応募書類に記載された個人情報は、選考及び採用以外の目的には使用しません。また、応募の秘密は厳守します。
なお、選考の結果を愛媛大学公式ウェブサイトで公表する際、採用候補者の氏名については公表させていただきます。

愛媛大学採用情報: <https://www.ehime-u.ac.jp/recruit/>

注) テニユア教員育成制度

愛媛大学では、教育・研究・マネジメントにバランスの取れた総合力の高い大学教員の育成を目指して、平成25年4月から「テニユア教員育成制度」を導入しました。

新規採用された講師、助教ならびに一部の実務家教員等(教授、准教授等)について、5年の任期中の最初の3年間で、本学教員としての業務全般に関わる能力開発プログラム(合計100時間以上)と、研究費の配分等の財政的支援を提供します。

期間中の3年目に中間審査を、5年目に最終審査を実施し、中間審査または最終審査に合格した者をテニユア職(終身雇用)に移行させます。ただし、最終審査に不合格となった場合は、5年で任期満了となります。

なお、詳細については本制度に関するホームページ

(URL: <http://ts.adm.ehime-u.ac.jp/>) をご覧ください。